

平成 28 年 9 月 28 日
商 工 中 金

医療機器向け小型樹脂部品の量産で事業拡大を図る 株式会社富士精工を金融面からサポート！

商工中金は、政府の「日本再興戦略」や日本銀行の「成長基盤強化に向けた取組み」等を踏まえ、民間投資が活発化していくことが期待されている「成長戦略分野」での成長を目指す中小企業等を積極的にサポートしています。

商工中金（北九州支店）は、株式会社富士精工（所在地：福岡県北九州市、代表者：藤山 眞司氏）に対し、小型樹脂部品の量産に必要な設備資金 3 千万円を融資しました。本件は、日本銀行の成長基盤強化に向けた取組みにおいて設定された戦略分野（医療・介護・健康関連事業）における対応であることを踏まえ、取り組んだものです。

株式会社富士精工は、創業以来、プラスチックや樹脂の切削加工に特化した事業を展開しています。これまで、半導体製造装置向けの部品供給をメインとしていましたが、近年、医療機器分野に新規参入し、事業領域の拡大を図っています。

今回、同社は、医療機器分野をはじめとした小型の樹脂部品需要を積極的に取り込むため、新たに生産効率を高める機械設備の導入により、量産体制を整備して売上拡大を目指す事業計画を策定しました。なお、設備導入に際しては、ものづくり補助金を一部活用していますが、商工中金は同補助金の申請をサポートしました。

商工中金は、同社の計画を自社の更なる成長やものづくり産業の高度化、地域雇用の創出等に寄与するものと高く評価し、事業計画の策定段階からサポートを行うとともに必要資金を融資しました。

商工中金は、中小企業等の「成長戦略分野」における取組みを積極的にサポートすることを通じて、地域経済の活性化に貢献してまいります。

【株式会社富士精工の概要】

所在地	福岡県北九州市八幡西区陣原 1-1-52	資本金	1 千万円
代表者	藤山 眞司	従業員数	33 名（平成 28 年 9 月現在）
業種	プラスチック加工業	設立	平成 9 年 5 月